

Rasumofsky Quartett, Wien

日本オーストリア友好 150 周年記念公式コンサート

ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団 仙台公演

共演ピアニスト 早坂 有里亜・馬場 千尋・福村 麻矢



Yuria Hayasaka



Chihiro Baba



Maya Fukumura



Program

シューマン：ピアノ五重奏曲 変ホ長調 作品 44 《pf. 早坂 有里亜》
Robert Schumann: Klavierquintett Es-Dur Op.44

ブラームス：ピアノ五重奏曲 へ短調 作品 34 《pf. 馬場 千尋》
Johannes Brahms: Klavierquintett f-moll Op.34

ドヴォルジャーク：ピアノ五重奏曲 イ長調 作品 81 《pf. 福村 麻矢》
Antonín Dvořák: Klavierquintett A-Dur Op.81

2019年12月6日《金》19:00開演 (18:30開場)
仙台市宮城野区文化センター パトナホール

全自由席 ¥4,000 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

[プレイガイド] ヤマハミュージックリテイリング仙台店・カワイ仙台
仙台・社の響きコンサート <http://www.morinohibiki.com>
ソレイユ音楽事務所「チケットの王様」<http://www.soleilmusic.com>

主催■ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団 仙台公演実行委員会
助成■(公財)仙台市民文化事業団 招聘・運営■(株)ソレイユ音楽事務所

マネジメント・お問合せ■仙台・社の響きコンサート 022-302-3344 (平日10時~18時)

後援■オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム
河北新報社・(株)宮城テレビ放送・日本ショパン協会東北支部
常盤木学園高等学校音楽科・(株)ヤマハミュージックリテイリング仙台店
(株)河合楽器製作所・月刊「音楽現代」

Rasumofsky Quartett, Wien

共演ピアニスト

Pianists

早坂 有里亜 Yuria Hayasaka



仙台市出身。常盤木学園高等学校音楽科を卒業。東京音楽大学器楽専攻（ピアノ）を経て同大学大学院修士課程を修了。現在科目等履修生として同大学院に在籍中。2003年～2009年 ビティナピアノコンペティションB、D、E級全国決勝大会入選。第21回フリューゲルピアノコンチェルトフェスティバル「夢コン」グランコンチェルト部門優秀演奏賞（1位）。第4回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan 大学・一般A部門 銅賞。第15回東北シヨパン学生ピアノコンクール大学生部門 銅賞。第1回ダヌビア・タレント国際音楽コンクール（ハンガリーにて）ピアノ部門 ディプロマ賞。

仙台、山形、東京を中心に多数のコンサートに出演。これまでにピアノを土山真理子、平間百合子、一柳麻衣、一柳和男、鷺見加寿子の各氏に、ソルフェージュを菊池えり子氏に、室内楽を山洞智氏に師事。現在ピアノを後藤美由紀、吉田友昭、赤松林太郎の各氏に師事する。

馬場 千尋 Chihiro Baba



仙台市出身。山形大学地域教育文化学部文化創造学科音楽芸術コースピアノ専攻卒業。これまでにピアノを大庭範子、高塚美奈子、伊達華子の各氏に師事。

銀座山野楽器ピアノフロアコンサート、カワイ仙台店オープニングコンサート、ヤマハ主催シヨパン全曲演奏会など出演多数。仙台国際音楽コンクール関連事業街かどコンサートにて仙台フィルメンバーによるアンサンブルと共演、ヌーベルバーグ2016にて東京国際芸術協会管弦楽団と共演しピアノ協奏曲のソリストをつとめるなど、ソロの他伴奏、室内楽での出演を重ねている。

昭和音楽大学附属音楽教室、ヤマノミュージックサロン、オアシス音楽センター各講師。

福村 麻矢 Maya Fukumura



兵庫県宝塚市出身。相愛大学音楽学部器楽科、ウィーン市立音楽院卒業。アメリカ、ベイラー大学よりアシスタントフェローシップを受け大学院修士課程修了。大学在学中、大阪市ユースオーケストラの上海、蘇州公演にソリストとして同行。コアノイブルク国際ピアノコンクール第3位入賞。平成13年度・大阪文化祭奨励賞受賞。ウルリーケ・ダンホーファー（Vn）、アダルベルト・スコチッチ（Vc）の両氏とピアノトリオ、ウィーン・ラズモフスキー四重奏団との共演の

他、宝塚市交響楽団定期演奏会、ブルガリアのプレーベンフィルオーケストラ定期演奏会のピアノソリストとして出演。近藤浩平氏作曲ピアノ協奏曲を関西フィルハーモニー管弦楽団と初演。現在、ソロはもとより器楽、声楽伴奏者として活動する他、仙台においてピアノ教室を主宰。これまでに、楳木裕子、辻本澄子、T. クロイツベルガー、K. ジョーダン、W. ヴァッツィンガーの各氏に師事。

宮城野区文化センター ご案内

仙台市宮城野区五輪 2-12-70 Tel: 022-257-1213

○ JR でのりでの方

JR 仙台駅から仙石線下り方面行きで6分、陸前原ノ町駅下車すぐ。

○ バスでのりでの方

仙台市営バス、仙台駅前 18・50・51 番のりば→宮城野区役所前下車すぐ。

ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団

Rasumofsky Quartett, Wien

コンサート評より

アンサンブルは緻密で音程の精度が高く、熟練した印象を与える。特にチェロの T. シュスラーは随所で存在感を発揮。冒頭でのハイドンの人気作、二短調作品 76-2 《五度》では、第1 ヴァイオリンの F. ズィーゲルトが短/長調の変化する色彩に機敏な反応を示して聴き応えがあった。
渡辺 和彦（音楽の友 2016年1月号より）

彼らの庄の少ない繊細な弓さばきから紡ぎ出されるハイドン、モーツァルトは、音色や響きを調和させながら語り、対話し、時にノートイネガルの語尾の変形を駆使しながら、雅なコミュニケーションを音で彫刻する……
小倉多美子（ムジカノヴァ 2016年3月号より）

音楽的コンセンサスは練りに練られ、純正律の音程から艶やかな音、透き通る和声、深みのあるユニゾンが生まれる。気がつけば4人とも譜面台から離れていた。
高塚 昌彦（音楽現代 2016年2月号より）

「ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団」は2001年、ウィーン放送交響楽団のトップメンバーたちによって結成。これまで9回の来日では全国各地で公演を行い、その調和のとれた音楽で観客を魅了し、室内楽の楽しさ、素晴らしさを伝え、絶賛を博した。2011年から2人の新しいメンバーを加えて、ますますハイレベルでエネルギー溢る演奏を披露している。



フランツ・ズィーゲルト
Franz Siegert, 1st Violin

ドレスデンに生まれる。ウィーン国立音楽大学にてクリスチャン・アルテンブルガーに師事し、2009年同大学院修士課程を最優秀で修了。2008年よりG. マーラー青少年オーケストラのコンサートマスターを務め、またバイエルン国立歌劇場及びバイエルン国立オーケストラ、ロンドンフィルのゲストコンサートマスターを務める他、ウィーン国立歌劇場、ウィーンフィルでも演奏する。2009年よりウィーン放送交響楽団コンサートマスターを務める。



スティーヴン・モーラー
Steven Mohler, 2nd Violin

アリゾナ大学、カルフォルニア大学を卒業後、ウィーン国立音楽大学にてクラウス・メッツル、ギュンター・ピヒラー両教授に師事。ビクトリア交響楽団（カナダ）、ピアチェンツァ交響楽団（イタリア）のコンサートマスター、またハイデルベルグ市交響楽団、ウィーン室内管弦楽団を経て、現在ウィーン放送交響楽団の第2ヴァイオリン首席を務める。また、ウィーン九重奏団の一員として室内楽でも活躍。



トーマス・ブンバル
Tomas Bumbal, Viola

ブラティスラヴァに生まれる。5歳よりヴァイオリンを始め、ブラティスラヴァ音楽院を経て、2003年ウィーン国立音楽大学を最優秀で卒業。ヴァイオリンをフランツ・サモイ、ヴィオラをハンス＝ペーター・オクセンホーファーに師事。2003年よりウィーン放送交響楽団の次席ヴィオラ奏者を務める。また平行して室内楽の活動も精力的に行っている。



ティル・シュスラー
Till Schüßler, Violoncello

ケルン国立音楽大学にてクルト・ヘルツブルッフ、ウィーン国立音楽大学にてバレンティン・エルベン両教授に師事。その間、室内楽をアマデウス・カルテット、アルバン・ベルグ・カルテットに師事。ウィーン室内管弦楽団首席を経て、現在ウィーン放送交響楽団の首席チェロ奏者を務める傍ら、マスタークラスなどで後進の指導にも当たっている。